

# 2018年度の事業計画

## ◆はじめに

『参加と行動 ～あらゆる主体の参加・行動を促します～』

かけがえのない地球を守り、私たちの生命を育んでいる健全で恵み豊かな環境を保全しながら将来に引き継ぐためには、社会を構成するあらゆる主体の参加と行動が必要です。

市民、地域団体・NPO、有識者、事業者、行政、学校等の異なる多様な主体が積極的に参加し、自ら行動する社会、各主体が相互に連携して行動することにより、相乗的な効果が発揮されている社会の構築に向け、行動と参画、協働を推進します。

## 1. ネットワーク・広報・研究・助成事業

### ①助成事業

- ・県内の環境団体の育成と環境問題の研究に対して財政的な支援を図ります。
- ・「助成活動報告会」は、前年度助成団体による活動報告と、意見交流を行います。

### ②ホタル団体交流会・ホタル現地視察会

- ・ホタル団体交流会は、ホタルに関する取り組みを実施している団体や関心ある個人の参加のもと交流をすすめ、自然環境保全活動の前進を図ります。
- ・ホタルフォーラムはこれまでに、県内各地で15回開催した結果、新たな開催地が見当らず、開催を見送ります。フォーラムに代わり、ホタル生息地や保全活動実施地域を訪れ、ホタルの生態と自然環境の観察をしながら、地域の皆様、参加者が意見交換し、より望ましい保全のあり方等について考えることを目的に現地視察を行います。

### ③. ニュース、ホームページ、メールニュースの発行

- ・各媒体の特徴を活かし、多様な情報発信、情報共有、各主体の交流の促進と、事業への参加や協力を促します。
- ・ニュースは季刊発行とし、様々な情報提供、活動紹介をすすめます。
- ・メールニュースは月2回を基本に発行し、タイムリーな情報発信をすすめます。
- ・「事業紹介パンフレット」や「事業・決算報告並びに事業計画・予算書」を作成し、広く活動の理解につなげ、それらを活用した会員獲得をすすめます。

### ④. 環境家計簿活動の普及

- ・環境家計簿の普及を通じ、家庭部門のCO<sub>2</sub>排出削減をすすめ、環境に配慮した暮らしを見直す活動をすすめます。

・岡山市と協働で「環境家計簿レポート・環境家計簿カレンダー」を発行し、啓発につなげます。

### ⑤. 自然環境の研究・交流

- ・「里海づくり推進部会」にて、県内の活動の推進、学習・交流企画等の具体化を図ります。
- ・里海生誕20周年を記念し、全国規模の里海シンポジウムを開催します。

### ⑥. 他団体、行政等とのつながり

- ・他団体や行政等との日常的なコミュニケーションを強め、共催事業の具体化や、委員会などの場で役割を發揮します。
- ・水環境フォーラムを（公社）日本水環境学会中国・四国支部岡山地域分科会、岡山理科大学環境教育地域支援研究会と共催で開催します。

## 2. 啓発事業

他団体や行政等との連携と協働をすすめます。

### ①. 市民のための環境講座

- ・環境問題を正しく理解し、意識啓発や行動を促し、社会全体の持続可能性を形づくる基本概念を学ぶことを目的に開催します。
- ・豊かな環境を次世代に継承できるよう、幅広い課題について、情報を発信します。
- ・笠岡でのアマモ場再生活動や、御津大野での各種取り組み等の企画をすすめます。

### ②. 体験プログラム

- ・体験を通して得られる実感や理解をもとに、人間と環境との関わりや、豊かな環境とその恵みを大切に思う心をはぐくみ、命の大切さを学び、環境や普段の暮らしを自ら考えるきっかけをつくることを目的に機会提供をすすめます。
- ・「旭川かいぼり調査2018」を地元団体等と共催で開催します。
- ・日生でのアマモ場再生関連企画内容の工夫を図り継続します。

## 3. 法人管理・会計等

### ①. 公益財団法人の組織運営

- ・新制度に沿った組織運営をすすめます。
- ・理事・監事・顧問の任期満了に伴い改選します。
- ・役員選任のあり方、事業のあり方等の検討をすすめます。

### ②. 予算

20周年記念事業の準備として、2017年度に引き続き「特定費用準備資金」を積み立てます。「特定費用準備資金」を除く予算は、前期の正味財産増額分を公益目的事業予算に加算し、増額分の解消をすすめます。